

「すべてはこどもたちの笑顔のために」(証券コード 2749)

子どもと高齢者が共に支えあえる環境づくりを推進

サービス付き高齢者向け住宅「そんぽの家S湘南台」で「園児と多世代交流会」を開催

株式会社 JP ホールディングスグループの日本保育サービスが運営するアスク長後保育園は、2025 年 2 月、近隣のサービス付き高齢者向け住宅である「そんぽの家 S 湘南台」(以下「そんぽの家」) と連携し、「園児と多世代交流会」を開催いたしました。

日本保育サービスは、子どもに世の中の広さを知り、“なりたい自分”を描ける未来を提供するため、地域の方、様々な年代の方との交流を積極的に実施しております。この度、人生の豊かな経験を積んできた高齢者の皆さんと、未来を担う子どもたちが直接触れ合うことで、互いに学び・刺激を受け合うことを目的として、アスク長後保育園の 5 歳児クラスが「そんぽの家」を訪問し、交流会を実施いたしました。



交流会の開催にあたり、子どもたちとそんぽの家の利用者の皆さんが安全に、そして心から楽しめる時間となるよう、職員の配置や環境を整備し、無理のないスケジュールを設計するなど、事前の準備段階からしっかりと計画・調整を行いました。

交流会は、まずお手玉を使ったレクリエーションでスタートしました。先生の説明のあと、園児が見本を見せてくれたことで、会場はなごやかな雰囲気に包まれました。続いて高齢者の皆さんも参加し、真剣ながらも笑顔をたくさんみせながらゲームを楽しみました。ゲームの後は子どもたちから歌を披露しました。この日のために沢山練習をした歌を一生懸命に歌う子どもたちを、利用者の皆さんには暖かな笑顔で包んでくださいました。

子どもたちも、ふだん触れ合う機会の少ないご年配の方々との交流に、最初は緊張した様子が見られましたが、帰る頃には互いにすっかり打ち解けた様子で、積極的に利用者の皆さんとお話しする姿が多く見られ、あちこちで会話が飛び交いました。別れ際には、「また来てね」「また来るね、楽しかった！ありがとう」と声が行き交い、異なる世代が互いに理解を深め、心温まる交流となりました。

当社グループは、今後も子どもたちにとって、自分の世界を広げることにより、“なりたい自分”を描けるよう、多様な経験を提供してまいります。

■株式会社JPホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援 最大手企業(東証プライム市場・証券コード 2749)です。運営施設数はグループ全体で345 施設となります(2025年4月1日現在)。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービス、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッキン、子育て支援施設向け英語・体操・音楽・ダンス・幼児学習プログラムの開発および提供・発達支援サポート、保育関連用品の企画・販売、保育や発達支援に関する研修・保育所等訪問支援事業・子育て支援プラットフォーム「コドメル」の運営などを行う株式会社日本保育総合研究所、不動産の仲介、コンサルティングを行う株式会社子育てサポートリアルティ、人材紹介・派遣事業を行う株式会社ワンズワイルがあります。

詳細はこちら(<https://www.jp-holdings.co.jp/>)をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部

経営企画部 広報 IR 課

TEL: 03-6433-9515 FAX: 03-6455-8032

MAIL: jphd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>